



市内見学先

21世紀の森と広場

千葉県松戸市千駄堀269
☎047-345-8900
まつとしこうえん緑地課
(松戸市公園緑地課)



東京ドーム11個分(50.5ヘクタール)もある大きな公園です。緑豊かな園内には、縄文の森や千駄堀池、自然観察舎などがあり、山・森・池・田園の様々な自然に触れられる環境となっています。

坂下ほんでんこどもの遊び場

千葉県松戸市下矢切606



紙敷こどもの遊び場

千葉県松戸市紙敷1573
☎047-366-7464 (松戸市子どもわかもの課)

市内には38か所のこどもの遊び場があります。周辺に公園がないところに遊び場があることで、地域の人や子どもたちの交流の場となっています。農業体験ができるイベントを開催したり、千葉大学と協力して活用を進めています。

市外見学先

港南台生き生きプレイパーク

神奈川県横浜市港南区港南台3-5
開催日: 第1・3土曜日・日曜日
毎週火曜日・水曜日・木曜日
開館時間: 10時から17時まで
※12月のみ10時から16時30分まで
☎045-671-4068
(子ども青少年局放課後児童育成課)



ハンモックに揺られたり、かまどで何かを焼いたり、竹林を探索するなど、「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、禁止事項を極力なくし、いろいろな年代の子どもたちが自由に思いっきり遊べる遊び場です。

洋光台駅前公園こどもログハウス

神奈川県横浜市磯子区洋光台5-2
休館日: 第3月曜日(第3月曜日が祝日の場合は翌火曜日)・年末年始(12月29日~1月3日)
開館時間: 9時から17時まで
☎045-833-1569
(洋光台駅前公園こどもログハウス)



アスレチック遊具や地下迷路、おもちゃ、図書コーナーがあります。天候を気にせずに、幼児から小学生まで室内で静かに過ごすことも、思い切り走り回ることもできる自由な遊び場です。

先輩たちの意見はどうなったのかな??

松戸市立博物館
松戸市千駄堀671 ☎047-384-8181
休館日: 毎週月曜日(祝・休日にあたる場合は翌日休館)
開館時間: 9時30分から17時まで

博物館には、企画展「こどもミュージアム」(現在は展示終了)を見学に行きました。昨年度、第45期こどもモニターが「理想の博物館」をテーマに活動し、提言を行いました。昔の人の衣装を着ることができたり、暮らしや職業を体験することができたり、先輩モニターさんの考えた「当時の生活を体験しながら歴史を学びたい」という意見が展示に反映されていました!



編集後記

色々な遊び場に行って、松戸にはどんな遊び場が必要なのかグループの人の意見を聞きながら、模造紙にわかりやすくまとめるように頑張りました。
皆で自分の意見をがしがしぶつちあうことで、自分たちが実現させたい未来像がはっきりしていくのがおもしろかったです。
松戸市の遊び場のこれからに何が必要か、考えることができました。自分とは違った意見も聞けて、楽しくグループワークをすることができてよかったです。
みんなで考えると、自分では良い意見だと思っていたものに対して賛成や反対の意見をもらえて、考えを深めることができました。

遊び場・プレイパークを見学!



私たちは7月に松戸市内にある、「坂下ほんでんこどもの遊び場」、「紙敷こどもの遊び場」、「21世紀の森と広場」へ行きました。市外では横浜市の「港南台生き生きプレイパーク」、「洋光台駅前公園こどもログハウス」を見学しました。

私たちが遊び場にほしいもの!



私たちは理想の遊び場について、「こんな遊びをやりたい!」「楽しく遊ぶにはこんな場所や仕組みがほしい!」という自分たちの思いを、見学やグループワークをとおしてイメージし、形にしました。
どんな遊びができれば楽しいか、理想の遊び場とはどういふところなのかを考え、みんなで話し合い、協力して4つの理想の遊び場像を完成させました!

「理想の遊び場」

みなさんは、遊びに行くならどんな場所がいいですか?

私たちは、市内こどもの遊び場や21世紀の森と広場、横浜市のプレイパークなどを見学し、やりたい遊びを実現するには、どんな場所や仕組み、人が必要なかを考えました。今回は、私たちの理想の遊び場についてご紹介します!

松戸市子ども夢フォーラムにて提言

2月に松戸市子ども夢フォーラムで、1年間の活動紹介と自分たちが考えた「理想の遊び場」についての提言をしました。発表を聞いた副市長と学校教員、育部長から感想を頂きました。私たちは自分たちの考えた意見が、松戸市で実現されることを期待しています。

松戸市子ども夢フォーラムとは?

松戸市子ども夢フォーラムは、学校活動のみならずスポーツや文化芸術活動など多方面で活躍する子どもたちの表彰・活動紹介・発表を通じて子どもの夢への支援を広げ、実現を目的としているイベントです。



こどもモニターってなあに?

こどもモニターは市長より委嘱を受け、子どもの意見を市の政策や事業に反映させることを目的に活動しています。第46期のメンバーは、小学6年生12名と中学2年生22名の合計34名で構成されています。主な活動として、こども祭りへの参加や鳥取県倉吉市との地域間交流会、市政への提言に向けた活動などを行っています。



A班 普通じゃない遊び場

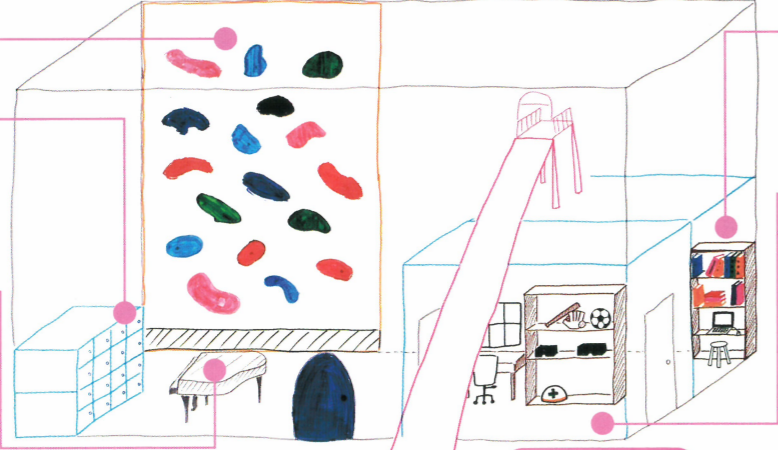
普通じゃできない遊びを自由に楽しめる場所があればいいなと思いました。イベントを定期的に開催したらたくさんの人が集まって、交流もできると思います。安全に遊ぶための工夫はもちろん、見守ってくれる大人がいつもいてくれたらいいなと思いました。

普通じゃない遊び場

ふき抜けの壁にボルダリング

ロッカー
荷物も預けられる

ピアノ
誰でも自由に演奏できる
・ストリートピアノにも挑戦できる



図書室
・パソコンがあり調べ学習もできる

事務室
・見守ってくれる大人がいて安心
・遊び道具の貸し出しもある

VRすべり台
・2階から外に続くすべり台では、VRで世界の絶景を見ながらすべれる

・外は、広場でたくさん走り回ったり、ボール遊びしたりできる
・イベントも定期的に開催して、たくさんの人が集まる場所に

B班 どんな日でも遊べる自由な遊び場

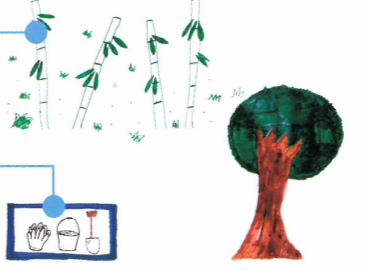
雨の日でも遊べて、たくさんの人が利用できると楽しいと思いました。そこで、年齢や天候にかかわらず利用できる、いろんな遊びが詰まったログハウスをデザインしました。遊び道具は使わなくなった人のものをリサイクルすることで、環境に優しい場所にしました。



竹林
・秘密基地を作れる

倉庫
・秘密基地を作るための道具や遊び道具がはいる（使わなくなった人のものをリサイクル）

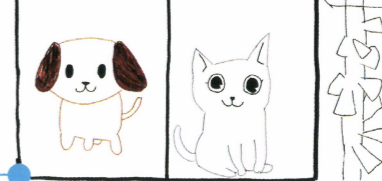
フリースペース
・高いフェンスでボール遊びも安心
・広いスペースで思いっきり遊べる



フリースペース

3階
・図書室：本を借りられる、調べ学習もできる

2階
・勉強部屋：友達と教えあえる空間
・カード・ボードゲーム部屋：大人気で遊んで友だち作りのきっかけに
・アスレチック部屋：体をたくさん動かせる



1階
・保護犬と保護猫のいる部屋があり、お世話体験や触れ合うことができる
・里親探しもしていて譲渡のきっかけに
・2階に上がるときは、外にも階段があるのでアレルギーのある人でも安心

理想の遊び場



C班 森と友達 自然との共存

どうして外で遊ぶ人が減っているのかを考え、「設備がない」「小さい子向けの遊具ばかりでスリルがない」ことが理由だと思いました。たくさんの人が外で楽しく遊べるように、小さい子も安全に遊べて中学生でも楽しめる、スリルのあるアスレチック遊具を考えました。

森と友達 自然との共存

オレンジの屋根の建物
・すべり台やトンネルなどの遊具がある
・小さい子も安全に遊べるような作り

つり橋
・オレンジの屋根の建物と展望台をつないでいる

展望台
・ロッククライミングで登れる、下にはマットがあって安全
・それぞれの建物に上るための階段には小さい子用に手すりがある



ツリーハウス
・自然と触れ合える
・カードゲームやおしゃべりをしてつづらげる

・ツリーハウスと展望台・オレンジの屋根の建物はターザンロープでつながれている
・ターザンロープは身長に合わせて高さを調整することができ、ロープにイスをつければ手足が不自由な人も楽しめる

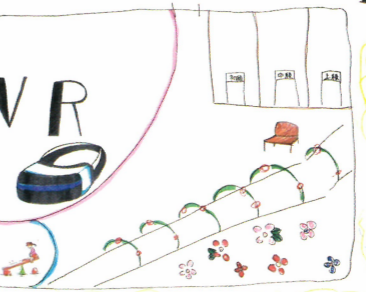
D班 現代と未来の共存

幅広い年齢の人たちが楽しく遊ぶことができる場所を考えました。最新技術を取り入れたり、アスレチックがあったり、大人も子どもも体をのびのび動かせます。また、花々に囲まれてリラックスできたりスケッチもできたらいいなと思ってデザインしました。



キッズエリア
・小さい子向けの遊具もある

ドリームガーデンエリア
・花畑やバラのアーチがありベンチでリラックスできる
・誰でもボランティアで花のお世話をしながら、植物について学べる



アスレチックエリア
・難易度別のアスレチックで子どもから大人まで楽しめる
・のびのびと体を動かせる

VRエリア
・プログラミングされたプロ選手とサッカーができる
・広い芝生の上で非日常的な遊びができる

現代と未来の共存